

# 東備西播定住自立圏共生ビジョン事業 KPI 進捗状況一覧表 【令和2年度～令和6年度（令和4年度）】

資料 3

「自然と歴史にまつまれた、  
笑顔あふれる文化交流都市圏」

目 標	目標指標	現状値 H30	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率
地域経済を活性化させ、分権型社会にふさわしい安定した社会空間を創出する。	圏域人口	97,060人	92,088人	90,429人	88,887人	90,510人	98.2%
	新規誘致事業者件数	0件	2件	1件	3件	5件	60.0%
圏域からの人口流出を防止し、都市部から圏域への人の流れを創出する。	東京都・大阪府からの転入者数	200人	241人	207人	257人	300人	85.7%
	東京都・大阪府への転出者数	352人	359人	333人	358人	300人	83.8%

## 1 生活機能の強化に係る政策分野

### ア 医療

施 策	事 業 名	重要業績評価指数 (KPI)	現状値 R1	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地域医療の連携	医療連携研究会事業	講演会参加者数	55人	89人	161人	0人	100人	0.0%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、医療従事者が一同に会しての公開学術講演会の開催については中止とした。R5年度以降は、新型コロナウイルス感染症の5類移行によって、講演会は通常開催予定、引き続き参加者の増加を目指す。
	看護職員教育研修支援事業	潜在看護師セミナー及び潜在看護師研修への参加者	1人	5人	5人	1人	5人	20.0%	令和4年度から新たに年間を通じたセミナーや研修を実施し、ホームページ等により広報したが、参加者が少なかった。今後は、備前市や上郡町の看護師へも積極的な広報を行う。
	圏域住民診療支援事業	備前市民、上郡町民の赤穂市民病院での出産件数	0件	0件	0件	0件	20件	0%	赤穂市民病院において分娩休止中の間は事業実施不可能である。

### イ 教育

施 策	事 業 名	重要業績評価指数 (KPI)	現状値 R1	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
生涯学習の推進	日本遺産を活かした地域の魅力向上事業	講演会等の参加者数	0人	0人	42人	72人	150人	48.0%	R1～2年度は、コロナ禍のため講演会を実施できなかった。R3年度は、会場定員の2分の1とした。R4年度は特に制限なし。目標値達成に向け、日本遺産の魅力向上に努める。
	図書館相互利用推進事業	登録者数	1,892人	1,984人	2,038人	2,165人	2,300人	94.1%	概ね予定通り推移しており、令和6年度に目標値に達する見込みである。
	図書館読書活動推進事業	事業参加者数	500人	1,300人	1,300人	1,300人	500人	260.0%	現状は、目標値を上回っており目標は達成する見込みである。
	文化・スポーツ交流事業	事業参加者数	5,139人	452人	1,156人	2,108人	4,750人	44.4%	引き続き、それぞれの主催イベントへの協力体制を図り、参加者の増加を目指す。
	文化・スポーツ施設相互利用促進事業	施設相互利用促進対象施設数	11施設	11施設	11施設	11施設	11施設	100%	近隣住民が同等の条件で利用できるよう、引き続き利用促進を図る。
	トップアスリート等招聘事業	事業参加者数	101人	62人	152人	73人	170人	42.9%	コロナ禍においては、オンラインを活用しての講習会をするなど、継続的に事業を推進。引き続き、圏域住民のニーズに合ったトップアスリートを招聘し、圏域のスポーツ推進を図る。
	中学校吹奏楽部交流助成事業	参加中学校数	6校	0校	0校	6校	7校	85.7%	コロナ禍による制限があったものの、再開することができた。コロナ禍以前の参加校数を維持し、引き続き未参加校へも参加を呼び掛けている。

	圏域中学生体験(社会福祉・看護・教育)プログラム事業	事業参加中学校数	9校	5校	7校	7校	11校	63.6%	新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことに伴い、今後は参加校が増加すると思われる。
	赤穂市生涯学習施設整備事業	文化会館の利用者数	86,033人	23,381人	41,852人	50,405人	126,000人	40.0%	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設使用制限がなく、コロナ以前の施設利用者数に近づいている。引き続きPR・事業展開等を通じ、利用促進に務める必要がある。
		図書館の利用者数	169,934人	112,421人	137,499人	122,040人	180,000人	67.8%	令和2年度～4年度の3年間は、新型コロナ及び空調工事に伴う休館等の影響もあり、コロナ前と比べ2～3割減と推移している。今後も目標値の達成に向け努めていく。
	備前市生涯学習施設整備事業	市民センター及び日生市民会館の利用者数	55,132人	21,883人	23,288人	35,076人	73,000人	48.0%	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設使用制限がなく、コロナ以前の施設利用者数に近づいている。引き続きPR・事業展開等を通じ、利用促進に務める必要がある。
上郡町スポーツ施設整備事業	町民スポーツセンターの利用者数	121,253人	80,774人	78,564人	113,460人	150,000人	75.6%	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設使用制限がなく、コロナ以前の施設利用者数に近づいている。引き続きPR・事業展開等を通じ、利用促進に務める必要がある。	
学校給食の広域連携	学校給食連携事業	圏域内献立活用回数	9回	10回	14回	11回	12回	91.7%	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることなく目標値に向けて順調に推移している。今後も給食センター間で情報交換を行いながら、目標値達成に向けて取り組んでいく。

#### ウ 産業振興

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地産地消の推進及び地域ブランドの発掘	地域ブランド発掘事業	地域ブランド化支援件数	2件	1件	2件	2件	2件	100.0%	目標どおり、年2件の事業活用を行うことができています。年度ごとに事業を活用する市町を決め、均等に事業を活用している。
観光振興の推進	観光振興推進事業	主要観光施設入込数	382千人	179千人	231千人	280千人	401千人	69.8%	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた主要観光施設入込数も、ウィズコロナによりアウトドアレジャーを中心に数値は戻りつつある。引き続き東備西播エリアの自然の魅力発信に務め、観光入込数の回復に繋げていきたい。
鳥獣害防止総合対策	有害鳥獣対策事業	有害鳥獣駆除頭数	3,030頭	2,896頭	2,689頭	2,472頭	2,600頭	95.1%	年々、駆除頭数が減少している。駆除班の高齢化などによる活動回数の減少が影響と考える。駆除班の人材育成も検討しながら、R6年度の目標値を達成できるよう継続的に取り組む。
企業誘致の推進	企業誘致促進事業	新規誘致事業者件数	0件	2件	1件	3件	5件	60.0%	企業の投資情報等の収集活動などにより前年度数値を上回ることができた。昨年取り組んだ情報通信や研究所、サテライトオフィスといったIT企業等の誘致活動については、首都圏から地方へのサテライトオフィスの進出からテレワークの普及へとフェーズが移行していることからサテライトオフィスのニーズが低調となっている。引き続き目標達成に向け、企業用地の確保を含め誘致活動に取り組む。

## 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### ア 地域公共交通

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地域公共交通ネットワークの構築	圏域バス運行事業	圏域バスの乗車人数	10,391人	9,431人	8,688人	9,930人	12,400人	80.1%	新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことにより、利用者が増加したものと考える。今後も引き続きPR等に努め、乗車人数の増加を図る。
	JR利便性向上事業	圏域内におけるJR駅の乗車人数	11,090人/日	8,420人/日	8,592人/日		11,900人/日	72.2%	令和4年度の乗車人数については、まだ公表されていないが、令和3年度は、緊急事態措置などの行動制限期間があったことから、利用者が伸び悩んだものとする。新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことで、利用者は増加見込み。

### イ ICTインフラ整備

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
地域情報ネットワークシステムの構築	地域情報活性化事業	ホームページ閲覧者数	29,056人	30,889人	29,092人	32,470人	32,000人	101.5%	当該ホームページは圏域の住民と行政とを結びつけるツールのひとつとして、広く情報共有・情報発信することを目的としており、この目標達成の指標としてホームページ閲覧者数を用いている。目標値は達成見込み。今後の課題として、ホームページ開設以降、閲覧者数は初期段階に一定数の伸びがあったものの、近年ほぼ同程度の数字で推移していることから、閲覧者の固定化が挙げられる。

### ウ 地域内外の住民との交流・移住促進

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
住民交流	民間イベント等助成事業	民間イベント新規助成決定団体数	4団体	2団体	0団体	2団体	5団体	40.0%	新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことにより、新たなイベント開催ができるようになったと考える。引き続きPR等に努め、新規団体の事業参加を促し、圏域内外住民との新たな交流の機会を創出する。
	こどもと学生のふれあい活動支援事業	ふれあい活動参加児童数	267人	0人	91人	130人	350人	37.1%	新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことにより、イベントの規模が昨年度より拡大し、参加児童数が増加したものと考える。アフターコロナで参加児童数が増加傾向にあるので、今後も引き続きPR等に努め、目標値達成を目指す。
	地域連携フォーラム支援事業	フォーラム参加人数	548人	0人	0人	260人	600人	43.3%	新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことにより、イベントが開催できるようになった。アフターコロナで参加人数が増加傾向にあるので、今後も引き続きPR等に努め、目標値達成を目指す。
移住の促進	定住相談会開催等事業	定住相談会における相談件数	46件	3件	8件	104件	60件	173.3%	ここ数年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全国的に移住相談会の開催が縮小していたが、令和4年度以降は大阪や東京で定期的に開催されているため、今後も継続的に参加することで目標件数を達成見込み。
	縁結び事業	カップル成立数	4組	7組	5組	8組	5組	160.0%	令和2年度以降の実績では目標値を達成しているため、今後のイベントにおいても同レベルの水準を保てるようイベントの周知、内容のブラッシュアップに努めていきたい。
	定住相談員設置事業	移住促進の事業による圏域外からの移住者数	1件	0件	0件	1件	2件	50.0%	令和2、3年度はコロナ禍により移住相談会の開催が縮小していたため、それをきっかけとした移住者数は0件であったが、移住相談会が再開された令和4年度には移住者数が1件となった。今後も積極的に移住相談会に参加し、圏域の魅力を発信することで、圏域内への移住者の確保につなげていきたい。

## 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

### ア 圏域内の職員等の交流

施策	事業名	重要業績評価指数(KPI)	現状値 R1	R2	R3	R4	目標値 R6	達成率	目標値に対する現状認識・要因分析等
圏域内の職員等の交流	職員研修事業	研修、交流事業参加者数	69人	5人	6人	66人	82人	80.5%	R4については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて対応しながらも、研修等参加者数66人について概ねR1の現状値となっている。今後においてはコロナ以前の形式の研修等を取り入れながら、事業を継続する。
	人事労務担当職員研究会(交流)事業								
	専門家招へい事業								